

第 11 小委員会

道 徳

令和5年7月19日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 菅 野 勇 次 様

第12地区教科書採択調査委員会第11小委員会委員長 森 浩 嘉

先に諮問のあった令和6年度から使用する小学校用教科用図書について、「特別の教科 道徳」の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月28日）

- (1) 配付された6者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月7日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月14日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された6者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編修趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や児童の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているか。
- ・すべての児童が学習しやすいような配慮やデジタルコンテンツの活用など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「新しい道徳」

- ・生命の尊厳については、重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、各学年に自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を配置し、多様な考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、道徳の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

(2) 教育出版 「小学校道徳 はばたこう明日へ」

- ・生命の尊厳については、重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、言語活動については、各学年に、児童が話し合ったり、自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、道徳の学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

(3) 光村図書 「道徳 きみがいちばんひかるとき」

- ・生命の尊厳については、モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、各学年に、児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、期待感をもって学習に向かい、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻末に1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

(4) 日本文教出版 「小学校道徳 生きる力 道徳ノート」

- ・生命の尊厳については、子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、各学年に児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

(5) 光文書院 「小学道徳 ゆたかな心」

- ・生命の尊厳については、自身の先祖について考えることなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、多様な考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

(6) 学研 「新版 みんなの道徳」

- ・生命の尊厳については、闘病中の児童とその家族の思いなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。(第3学年)
- ・言語活動については、各学年に、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされている。
- ・児童の学習意欲を高める工夫については、各学年に、自分自身とのつながりを探る「つながるわたし ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つながりよう ひろげよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなどの使用上の配慮がなされている。

4 その他

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年	道徳・112	新編 あたらしい どうとく 1
		第2学年	道徳・212	新編 新しいどうとく 2
		第3学年	道徳・312	新編 新しいどうとく 3
		第4学年	道徳・412	新編 新しいどうとく 4
		第5学年	道徳・512	新編 新しい道徳 5
		第6学年	道徳・612	新編 新しい道徳 6
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の国から来た食べ物などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットで動画を共有する場面を扱い、発信する情報に責任をもつためには、どのようなことが大切なのかを考える活動（第5学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「修学旅行の夜」において、自由と自分勝手の違いは何かについて考えたり、自由ではなく自分勝手だったことはないか自分を振り返ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第6学年） 			
内容の構成・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、<u>多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」</u>を配置し、多様な考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 <p>○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は18%、「主として人との関わりに関すること」は17%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は29%、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」は24%、「複数の内容項目が含まれている教材」は0%、「内容項目以外の記載等」は12%であり、総ページ数は196ページで前回より約2%減となっている。（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、道徳の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、「どんな学びをするのかな？」や自分の考えを可視化し、話し合い活動を促すためのツールを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「コンピュータで学びを広げよう」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ いじめの問題に関する教材数 第1学年8、第2学年5、第3学年6、第4学年4、第5学年4、第6学年4</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年0、第2学年0、第3学年0、第4学年0、第5学年2、第6学年0</p>			

別紙様式 1

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・113 道徳・213 道徳・313 道徳・413 道徳・513 道徳・613	しょうがどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこうあすへ 小学どうとく3 はばたこうあすへ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔から伝わる日本の行事などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによるいじめの場面を扱い、自分が被害を受けたときに適切な対応をするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動（第5学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇しながら」において、<u>複数のことを同時にやって失敗した際の問題点について考えたり、事例の共通点、異なる点、問題の重さについて話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</u>（第6学年） 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が話し合ったり、自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は18%、「主として人との関わりに関すること」は22%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は31%、「主として生命の自然、崇高なものとの関わりに関すること」は20%、「複数の内容項目が含まれている教材」は0%、「内容項目以外の記載等」は9%であり、総ページ数は185ページで前回より約9%増となっている。（第6学年） 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、道徳の学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「道徳ではこんな学び方をするよ」や教材での学びをさらに深め充実させる「タブレットを学習に生かそう」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「まなびリンク」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題に関する教材数 第1学年4、第2学年4、第3学年6、第4学年2、第5学年4、第6学年5 ○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年0、第2学年0、第3学年0、第4学年2、第5学年2、第6学年2 			

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年	道徳・114	どうとく1 きみがいちばんひかるとき
		第2学年	道徳・214	どうとく2 きみがいちばんひかるとき
		第3学年	道徳・314	どうとく3 きみがいちばんひかるとき
		第4学年	道徳・414	道徳4 きみがいちばんひかるとき
		第5学年	道徳・514	道徳5 きみがいちばんひかるとき
		第6学年	道徳・614	道徳6 きみがいちばんひかるとき
		取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や、住んでいるところに伝わる遊びなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用する場面を扱い、<u>インターネットの特性を踏まえたマナーを守るためには、どのようなことが大切なのか</u>を考える活動（第5学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども会のキャンプ」において、謝る人と、謝られる人を交代して、言葉をかけ合ったり、言葉をかけ合って、よかったことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第6学年） 	
内容の構成・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 <p>○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は19%、「主として人との関わりに関すること」は21%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は27%、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」は19%、「複数の内容項目が含まれている教材」は9%、「内容項目以外の記載等」は6%であり、総ページ数は215ページで前回より約3%減となっている。（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、期待感をもって学習に向かい、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻末に、<u>1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」</u>を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、楽しみながら考えることができるよう「なんだろう なんだろう」や、教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「学びのテーマ」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ いじめの問題に関する教材数 第1学年6、第2学年6、第3学年8、第4学年5、第5学年7、第6学年5</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年0、第2学年0、第3学年0、第4学年2、第5学年1、第6学年2</p>			

別紙様式 1

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点		116・日文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・115、道徳・116 道徳・215、道徳・216 道徳・315、道徳・316 道徳・415、道徳・416 道徳・515、道徳・516 道徳・615、道徳・616	しょうがどうとく いきるちから 1、どうとくノート 小学どうとく 生きる力 2、どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3、どうとくノート 小学道徳 生きる力 4、道徳ノート 小学道徳 生きる力 5、道徳ノート 小学道徳 生きる力 6、道徳ノート
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の昔からあるお菓子などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話で友だちと約束した場面を扱い、<u>友だちとのすれ違いが起こらないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動（第5学年）</u> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのせいじゃない」において、いじめを断ち切るための心のもち方を考えたり、いじめを止めるために、誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第6学年） 				
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は24%、「主として人との関わりに関すること」は21%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は30%、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」は17%、「複数の内容項目が含まれている教材」は0%、「内容項目以外の記載等」は8%であり、総ページ数は240ページで前回より約3%増となっている。（第6学年） 				
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や<u>道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置</u>し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、学びを広げ、深める「コラム 心のベンチ」や「導入の発問例」、「考えてみよう」、「見つめよう・生かそう」の3つの発問例を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「教科書QRコンテンツ」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 				
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題に関する教材数 第1学年14、第2学年14、第3学年16、第4学年16、第5学年14、第6学年18 ○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年0、第2学年1、第3学年1、第4学年2、第5学年1、第6学年1 				

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	208・光文	第1学年	道徳・117	しょうがく どうとく ゆたかな ころろ 1ねん
		第2学年	道徳・217	小学 どうとく ゆたかな ころろ 2年
		第3学年	道徳・317	小学 どうとく ゆたかな心 3年
		第4学年	道徳・417	小学道徳 ゆたかな心 4年
		第5学年	道徳・517	小学道徳 ゆたかな心 5年
		第6学年	道徳・617	小学道徳 ゆたかな心 6年
		取扱い内容	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の先祖について考えることなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紅葉狩りの経験などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利について考える場面を扱い、<u>他の人の権利を尊重するためには、どのようなことが大切なのか</u>を考える活動（第5学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第6学年） 	
内容の構成・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、多様な考え方に接する中で考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 <p>○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は21%、「主として人との関わりに関すること」は19%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は31%、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」は18%、「複数の内容項目が含まれている教材」は6%、「内容項目以外の記載等」は6%であり、総ページ数は194ページで前回から増減なしとなっている。（第6学年） 			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、<u>次の学年に向けてのエール</u>となるような贈る言葉「<u>ことばのたからもの</u>」や巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「<u>学びの足あと</u>」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「<u>考えよう（展開）</u>」「<u>まとめよう（終末）</u>」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの配慮をする（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ いじめの問題に関する教材数 第1学年7、第2学年5、第3学年9、第4学年7、第5学年6、第6学年2</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年0、第2学年0、第3学年1、第4学年1、第5学年2、第6学年2</p>			

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第1学年	道徳・118	新版 みんなのどうどく1
		第2学年	道徳・218	新版 みんなのどうどく2
		第3学年	道徳・318	新版 みんなのどうどく3
		第4学年	道徳・418	新版 みんなの道徳4
		第5学年	道徳・518	新版 みんなの道徳5
		第6学年	道徳・618	新版 みんなの道徳6
		取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・闘病中の児童とその家族の思いなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動（第3学年） ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・正月の過ごし方などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動（第1学年） ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSに写真をアップロードする場面を扱い、情報を発信する際には、どのようなことが大切なのかを考える活動（第5学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「チョモランマ清掃登山隊」において、自然と共存するために、どんなことを大切にしたいか考えて書いたり、書いたものを読み合い、感じたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動（第6学年） 	
内容の構成・排列 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ○ 内容の分量（全体に占める割合）については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「主として自分自身に関すること」は21%、「主として人との関わりに関すること」は22%、「主として集団や社会との関わりに関すること」は29%「主として生命の自然、崇高なものとの関わりに関すること」は19%、「複数の内容項目が含まれている教材」は0%、「内容項目以外の記載等」は9%であり、総ページ数は170ページで前回から増減なしとなっている。（第6学年） 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、自分を取り巻く社会へ意識を向けながら、自分自身とのつながりを探る「つながるわたし ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう ひろげよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「道徳の学習がはじまるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマークボックスを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題に関する教材数 第1学年13、第2学年8、第3学年9、第4学年8、第5学年8、第6学年7 ○ 北海道の地域素材を掲載している教材数 第1学年1、第2学年0、第3学年0、第4学年2、第5学年0、第6学年1 			